

ご説明資料

令和4年11月

【大阪】資金調達の確実性について

		資金構成	資金調達の確実性を裏付ける客観的な資料(概略)
資金調達総額 約1兆800億円	借入 約5,500億円	三菱UFJ銀行、三井住友銀行 その他シンジケーション参加金融機関 約5,500億円(100%)	①三菱UFJ銀行、三井住友銀行の連名による融資確約書 ・ ・ ・
	出資 約5,300億円	日本MGMリゾート 約2,120億円(40%)	②日本MGMリゾート及びオリックスによる保証差入書 ・各社ごとに約2,120億円の出資を確約する旨の記載 ・大阪府市と大阪IR(株)(中核株主(日本MGMリゾート及びオリックス))が締結した基本協定書において、区域整備計画の認定が得られた日から30日を経過した日において、大阪IR(株)が7つの条件が成就していないと判断する場合は、基本協定を解除することができる旨の規定がある
		オリックス 約2,120億円(40%)	
		少数株主全体 約1,060億円(20%)	④各少数株主による出資・コミットメントレター ・合計して約1,060億円の出資を確約 ・ ・

[大阪 融資] 条件の検証 (1/2)

[Redacted text block]

[Redacted text block]

[Redacted text block]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[Redacted]

[大阪 融資] 融資確約書

融資確約書

事務局注

[大阪 融資] 融資確約書

融資確約書

事務局注

[大阪 融資] 融資確約書

融資確約書

事務局注

[大阪 融資] 融資確約書

融資確約書

事務局注

[大阪 融資]第2回質問回答

番号	12
質問の内容	<p>令和4年5月31日付けIR推第1108号で回答のあった質問番号3への回答において、株式会社三菱UFJ銀行及び株式会社三井住友銀行からの回答として、 [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]</p> <p>仮に融資を受けられないことがあるのであれば、融資を受けられなかった場合の対応について、具体的な説明を頂きたい。</p>
回答 (1/2)	<ul style="list-style-type: none"> • 株式会社三菱UFJ銀行及び株式会社三井住友銀行が「融資確約書」に記載した [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] • [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] • [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] <p>[REDACTED]このような認識のもと、大阪府・市及びIR事業者は、IR事業実現に向けた強い意志をもって本事業に取り組んでいます。</p>

[大阪 融資]第2回質問回答

番号	12
回答 (2/2)	<ul style="list-style-type: none">• 他方で、IR事業者としては、本件のような大規模な開発プロジェクトの実行のためには、金融機関からのプロジェクトファイナンスを得られることが不可欠であり、基本協定第19条第4項(3)において、「融資契約の締結を合理的に確実とするコミットメントレターを設置運営事業のための融資を行う金融機関から取得できていること、かつ、当該金融機関との間で締結する融資契約に基づく融資の実行が受けられると合理的に見込まれること」と規定しており、株式会社三菱UFJ銀行及び株式会社三井住友銀行から、融資を受けられる、あるいは融資を受けられることが合理的に見込まれる場合に、IR事業の実行が可能になります。• なお、仮に、融資契約の締結予定時期において、 が充足していない場合でも、大阪府・市及びIR事業者は、「融資確約書」の に従って、融資契約が締結できるよう、金融機関との間で最大限協議を進めていく所存です。

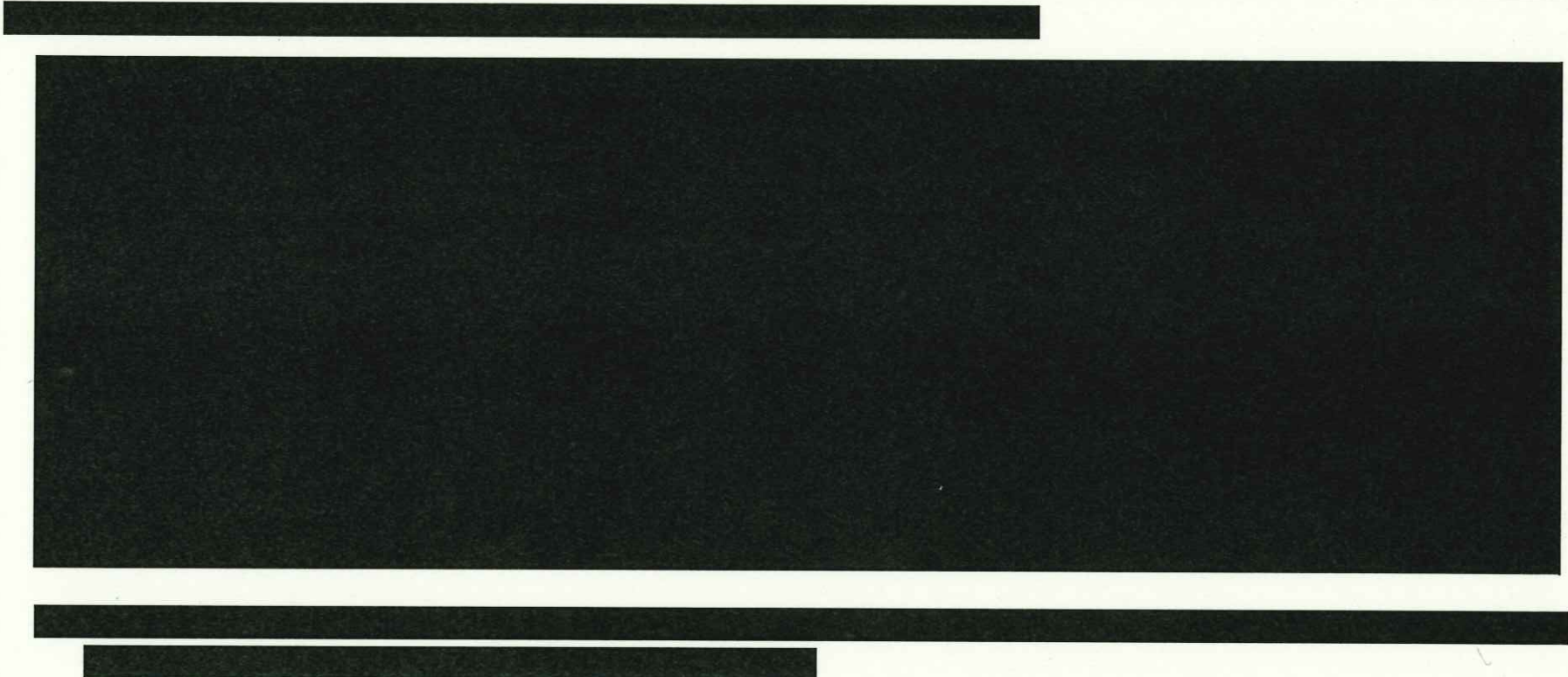
[大阪 融資]第1回質問回答

番号	4
回答 (2/2)	<ul style="list-style-type: none">• [REDACTED]• [REDACTED]• [REDACTED]• [REDACTED]• このような認識のもと、大阪府・市及びIR事業者は、IR事業実現に向けた強い意志をもって本事業に取り組んでいます。

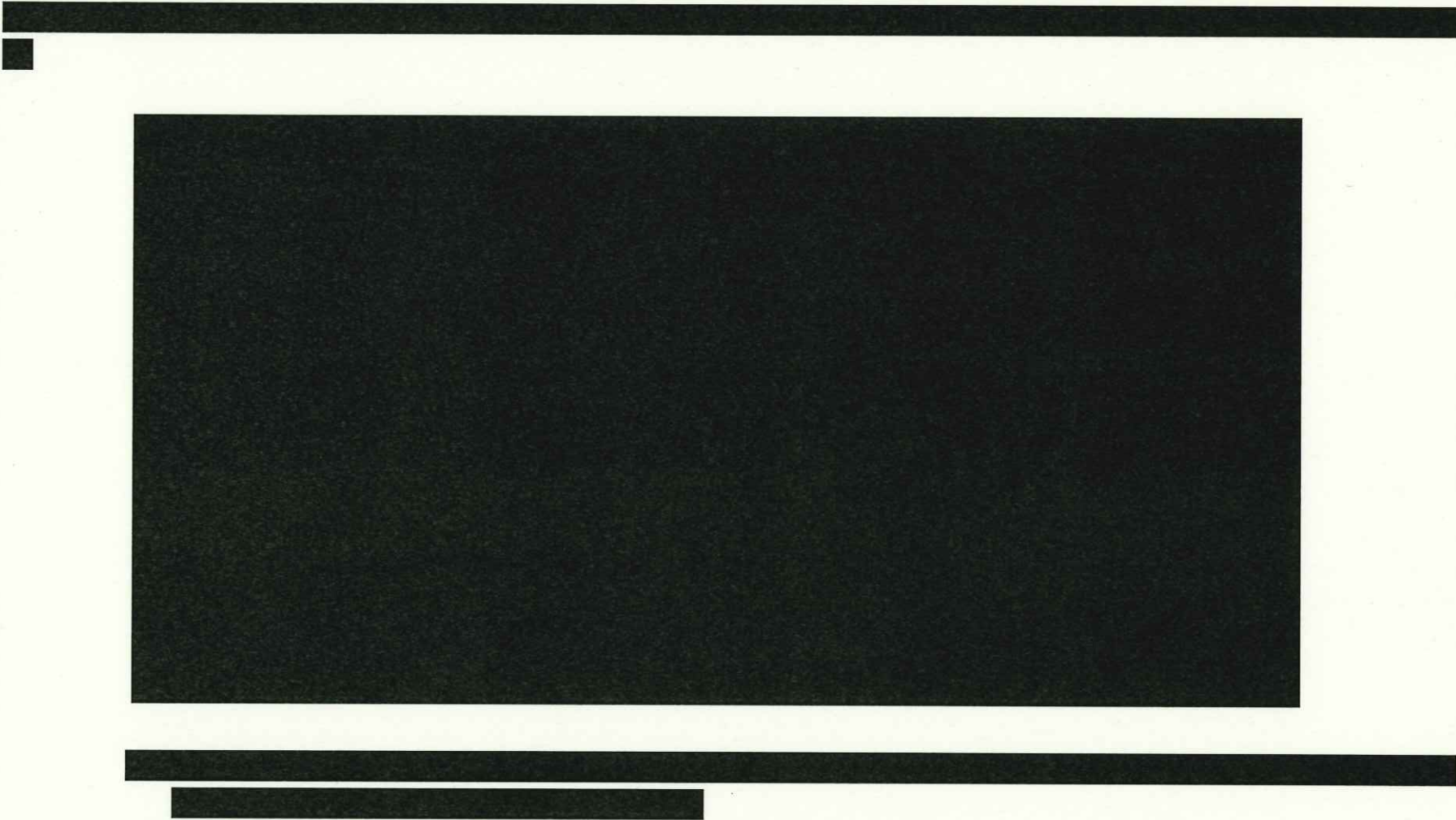
[大阪 融資] 第3回質問回答

<p>番号</p>	<p>3</p>
<p>質問の内容</p>	<p>「三菱UFJ銀行・三井住友銀行が [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] シンジケーション組成の確実性も含めた融資の確実性の考え方について、具体的な説明を頂きたい。</p>
<p>回答 (1/5)</p>	<p>株式会社三菱UFJ銀行及び株式会社三井住友銀行から、本質問について、以下の回答を受領しており、IR事業者としては、 [REDACTED]</p> <p><株式会社三菱UFJ銀行及び株式会社三井住友銀行からの回答> ※1</p> <ul style="list-style-type: none"> • [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] • [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] • [REDACTED] [REDACTED] • [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED] [REDACTED]

[大阪 融資] 第3回質問回答

番号	3
回答 (3/5)	 A large rectangular area of the table is completely redacted with a solid black fill. This redaction covers the majority of the answer content for question number 3. There are three smaller horizontal black bars: one at the top left of the redacted area, one at the bottom left, and one at the bottom right, which appear to be redactions of specific lines of text.

[大阪 融資] 第3回質問回答

番号	3
回答 (5/5)	 The content of this table cell is almost entirely redacted with black bars. At the top left, there is a small black square. Below it is a large rectangular black redaction box. At the bottom, there are two horizontal black bars of different lengths.